

平成 30 年度 「若者たちが萌えるまち」 留萌市応援寄附報告書



【目次】

1	寄附の概要	1 ページ
2	寄附金（基金）の活用	2 ページ
3	基金の積み立て	4 ページ
4	寄附者のみなさま【個人・団体】	5 ページ
5	寄附者のみなさまからのメッセージ	11 ページ
6	「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附条例及び施行規則	17 ページ

「ふるさと・るもい」の応援団の皆さまへ

「ふるさと・るもい」を愛する応援団の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附にご寄附を賜り、また、日頃より当市のまちづくりに格別のご支援、ご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

この制度は、永遠に持続できるふるさとの海、山、健康づくりを進め、誇りを持って未来を担う子どもたちに引き継ぐまちづくりを進めることを目的に平成20年9月に導入いたしました。

私たちのまち「留萌市」は、北海道の北西、日本海オロロンラインの中継地点に位置し、西は日本海、南北には暑寒別天売焼尻国定公園が連なる豊かな自然に囲まれたまちです。

留萌市はニシンとともに発展し、塩かずの子の加工生産量日本一を誇る「かずの子のまち」であるとともに、海と山の新鮮な旬の幸が集まり、ヒラメ・タコ・ウニなどの海産物、良質な留萌産米を中心とした農産物など四季折々の食彩が豊富です。これらの地域資源を守り発展させ、未来に引き継ぐためには、萌える若者たちのがんばりと留萌市に想いを寄せてくださる皆さまの応援が必要です。

チャレンジする若者たち、ふるさと・るもいの応援団とともに、明るい未来を目指して、まちづくりを進めてまいりますので、今後とも皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いします。



令和元年6月

留萌市長 中西俊司

① 寄附の概要

平成30年度は、総額79,730,726円、5,570件のご寄附をいただきました。

寄附事業の区分	件数	寄附額（円）
(1) 萌える若者たちのまちづくりに関する事業	128	2,180,000
(2) ふるさとの海づくり・里山づくりに関する事業	221	3,250,000
(3) ニシン文化の継承に関する事業	50	710,000
(4) 食のブランド化、食育に関する事業	86	2,280,000
(5) 健康で輝きのある元気づくりに関する事業	46	770,000
(6) 安心して暮らせる地域医療づくりに関する事業	1,559	21,340,000
(7) こどもの健全な育成に関する事業	338	5,090,000
(8) その他留萌市が推進する事業	33	1,500,726
寄附の用途を指定しない	3,109	42,610,000
合計	5,570	79,730,726

ご寄附5,570件のうち、個人からのご寄附が5,563件、団体からのご寄附は7件となっております。

また、地域別では留萌市内が5件、道内（留萌市を除く）が20件、道外が59件、その外（住所非公開）が5,486件となっております。

〇留萌市応援寄附の概要（平成30年度）

	(1) 萌える若者たちのまちづくりに関する事業		(2) ふるさとの海づくり、里山づくりに関する事業		(3) ニシン文化の継承に関する事業		(4) 食のブランド化、食育に関する事業		(5) 健康で輝きのある元気づくりに関する事業		(6) 安心して暮らせる地域医療づくりに関する事業		(7) こどもの健全な育成に関する事業		(8) 前各号に掲げる事業のほか、留萌市が推進する事業		合計	
	件数	寄附額（円）	件数	寄附額（円）	件数	寄附額（円）	件数	寄附額（円）	件数	寄附額（円）	件数	寄附額（円）	件数	寄附額（円）	件数	寄附額（円）	件数	寄附額（円）
個人	3,237	44,790,000	221	3,250,000	50	710,000	86	2,280,000	46	770,000	1,559	21,340,000	338	5,090,000	26	790,000	5,563	79,020,000
市内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	50,000	0	0	1	50,000
道内	7	120,000	2	30,000	1	10,000	0	0	2	60,000	2	20,000	4	220,000	1	30,000	19	490,000
道外	22	300,000	4	90,000	2	20,000	5	80,000	4	100,000	12	140,000	6	140,000	4	170,000	59	1,040,000
住所非公開	3,208	44,370,000	215	3,130,000	47	680,000	81	2,200,000	40	610,000	1,545	21,180,000	327	4,680,000	21	590,000	5,484	77,440,000
団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	710,726	7	710,726
市内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	600,000	4	600,000
道内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	30,726	1	30,726
道外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住所非公開	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	80,000	2	80,000
合計	3,237	44,790,000	221	3,250,000	50	710,000	86	2,280,000	46	770,000	1,559	21,340,000	338	5,090,000	33	1,500,726	5,570	79,730,726

2 寄附金（基金）の活用

平成30年度については、これまでの基金積立額から取り崩して活用し、食のブランド化、食育に関する事業として3事業、子どもの健全な育成に関する事業として1事業実施しました。

今後も事業実施に向けた検討を重ね、より良い有効活用を図り事業を展開していきます。

(1) 基金積立額を取り崩し実施した事業（平成30年度 4事業を実施）

- ① 食のブランド化、食育に関する事業として、「るもい子ども食・農体験支援事業」を実施しました。
- ② 食のブランド化、食育に関する事業として、「魚食普及事業」を実施しました。
- ③ 食のブランド化、食育に関する事業として、「学校給食地元食材活用事業」を実施しました。
- ④ こどもの健全な育成に関する事業として、「北海道150年記念子どもたちの芸術鑑賞事業」を実施しました。

寄 附 事 業 の 区 分	金 額 (円)		実 施 事 業 名	担 当 課
(4) 食のブランド化、食育に関する事業	423,416	83,169	魚食普及事業	農林水産課
		40,439	るもい子ども食・農体験支援事業	農林水産課
		299,808	学校給食地元食材活用事業	学校給食センター
(7) こどもの健全な育成に関する事業	1,485,447		北海道150年記念子どもたちの芸術鑑賞事業	生涯学習課
合 計	1,908,863		4事業	-

「るもい子ども食・農体験支援事業」

農業を身近に感じ、地元食材への興味・関心や食の大切さを親子で学ぶことを目的とした体験事業を実施し、食育推進、愛郷心の育成に取り組みました。

○ 実施内容：親子料理教室



「魚食普及事業」

地場水産物の生産から消費等に至るまでの食に関する一連の流れを知ってもらい、食育の推進と地域漁業への理解を深めるとともに関心につなげ、地元食材の魅力発見と愛郷心の育成に取り組みました。

○ 実施内容：ニシン等の捌き体験・えび汁配布

「学校給食地元食材活用事業」

地元食材（留萌産又は管内産）を使用し、食材の大切さや流通の仕組みを理解し、郷土に対する愛着を育む事業として実施しました。

○ 実施内容：8月～12月の学校給食にて実施



「北海道150年記念子どもたちの芸術鑑賞事業」

本道が「北海道」と命名されてから150年目となる平成30年を節目と捉え、積み重ねてきた歴史や先人の偉業を振り返り、感謝し、先人から受け継いだ財産を次の世代につなぐため、主に小・中学生を対象とした鑑賞事業を実施しました

○ 実施内容：ミュージカル鑑賞



(2) 平成30年度の寄附金を活用して実施した事業（平成30年度 2事業を実施）

「環境保全事業」、「地元若者人材育成事業」を実施しました。

寄 附 事 業 の 区 分	金 額 (円)	実 施 事 業 名	担 当 課
(8) 前各号に掲げる事業のほか、留萌市が推進する事業	130,000	環境保全事業	環境保全課
	20,000	地元若者人材育成事業	経済港湾課
合 計	150,000	2事業	-

3 基金の積み立て

平成30年度にご寄附をいただきました総額79,730,726円のうち、返礼品や返礼品の送付に係る経費等を差し引いた金額と、基金積立金により得られた運用益をそれぞれの基金へ積み立てしております。

(1) 留萌市応援基金の残高（平成30年度末現在）

（単位：円）

寄附事業の区分(略称)	留萌市応援寄附条例に基づく寄附金等積立分			合 計
	平成29年度末 累計額	平成30年度		
		活用金額	積立額	
(1) 萌える若者たちのまちづくり	20,741,207		6,804,510	27,552,895
基金運用益	-		7,178	
(2) ふるさとの海づくり・里山づくり	16,417,732		3,250,000	19,667,732
(3) ニシン文化の継承	1,081,018		710,000	1,791,018
(4) 食のブランド化、食育	7,655,330	423,416	2,280,000	9,511,914
(5) 健康で輝きのある元気づくり	2,939,756		770,000	3,709,756
(6) 安心して暮らせる地域医療づくり	20,559,702		21,340,000	41,899,702
(7) こどもの健全な育成	24,862,504	1,485,447	5,090,000	28,467,057
合 計	94,257,249	1,908,863	40,251,688	132,600,074

(2) その他基金の状況（平成30年度末現在）

（単位：円）

○平成30年度末現在のその他の基金状況

基金の名称	平成29年度末 累計額	平成30年度		合 計
		活用金額	積立金額	
留萌市社会福祉振興基金	199,261,090	15,929,257	180,726	183,526,452
基金運用益			13,893	
留萌市芸術文化振興基金	18,621,820	820,958	340,000	18,140,862
基金運用益			1,349	
留萌市スポーツ振興基金	19,051,742	1,079,280	100,000	17,973,768
基金運用益			1,306	
留萌市公共施設整備基金				
基金運用益				

4 寄附者のみなさま【個人・団体】

ご芳名(個人)	住所	寄附額(円)
伊藤 勝弘	北海道	50,000
伊藤 照生	東京都	10,000
稲田 昭子	北海道	50,000
永井 優妃	埼玉県	10,000
岡林 賢二	北海道	10,000
丸山 幸子	北海道	20,000
吉田 稔	北海道	20,000
吉田 勇	東京都	20,000
久保 壽雄	北海道	30,000
金澤 明	岩手県	20,000
原 一郎	東京都	20,000
佐々木 健治	岩手県	20,000
山口 保輝	東京都	10,000
酒井 大和	神奈川県	10,000
小松 和幸	東京都	100,000
小林 章二	東京都	20,000
信田 浩和	北海道	10,000
杉本 正明	東京都	30,000
菅原 日佐子	北海道	20,000
西條 岳志	神奈川県	10,000
青木 央	北海道	80,000
池田 千亜紀	北海道	20,000
辻 安國	神奈川県	30,000
庭田 茂	東京都	20,000
牧野 政四郎	北海道	10,000
涌島 正成	北海道	10,000
鈴木 みつ江	茨城県	10,000
鈴木 智也	北海道	10,000
櫻井 滋敏	北海道	100,000
齊藤 秀和	埼玉県	40,000
宮脇 正能	群馬県	20,000
本田 誠一	神奈川県	30,000
高橋 力也	東京都	50,000
高橋 絵美		
高橋 歩実		
高橋 沙希		
増田 敏光	神奈川県	40,000
安久津 正幸	非公表	10,000
安原 弘勝	非公表	10,000

ご芳名(個人)	住所	寄附額(円)
伊東 秀晃	非公表	10,000
伊藤 健人	非公表	20,000
伊藤 亮太	非公表	10,000
井出 健太	非公表	10,000
井上 孝司	非公表	10,000
井本 千秋	非公表	10,000
稲垣 幸生	非公表	10,000
浦上 栄美	非公表	10,000
横山 誠希	非公表	10,000
横山 豊範	非公表	10,000
岡田 卓己	非公表	10,000
岡本 義信	非公表	10,000
岡野 達正	非公表	10,000
桶谷 肇子	非公表	10,000
恩田 勝美	非公表	10,000
下山 義信	非公表	20,000
加治 幸隆	非公表	10,000
河西 壯	非公表	10,000
河底 英男	非公表	10,000
河本 哲洪	非公表	30,000
花城 明治	非公表	10,000
花牟礼 茂人	非公表	10,000
笠原 仁孝	非公表	30,000
葛岡 義和	非公表	20,000
関戸 美紀	非公表	10,000
関口 都弘	非公表	10,000
関口 洋資	非公表	10,000
関根 秀樹	非公表	10,000
関川 敏一	非公表	10,000
岸本 弘之	非公表	10,000
岩田 稔	非公表	10,000
岩藤 知義	非公表	10,000
亀井 英志	非公表	10,000
亀井 公央	非公表	10,000
亀井 俊夫	非公表	20,000
吉清 徹	非公表	20,000
吉川 恵子	非公表	10,000
吉田 幸泰	非公表	10,000
吉田 渉	非公表	20,000

ご芳名(個人)	住所	寄附額(円)
吉田 忠義	非公表	10,000
吉田 扶	非公表	10,000
久慈 美賀	非公表	20,000
久保田 龍子	非公表	10,000
宮負 智	非公表	20,000
宮本 裕二	非公表	30,000
牛嶋 祥之	非公表	20,000
橋場 真太郎	非公表	10,000
近 勝利	非公表	10,000
近藤 喜将	非公表	10,000
近藤 美穂	非公表	10,000
金谷 泳知	非公表	10,000
窪田 ルミ子	非公表	30,000
熊谷 定男	非公表	20,000
栗原 正樹	非公表	10,000
桂 説子	非公表	20,000
原口 博子	非公表	10,000
原田 雅幸	非公表	10,000
古賀 孝司	非公表	10,000
古田 英明	非公表	20,000
古澤 亮	非公表	10,000
戸田 圭司	非公表	10,000
五十嵐 晴彦	非公表	10,000
鯉田 勲	非公表	20,000
工藤 晋一郎	非公表	20,000
工藤 敏治	非公表	10,000
江見 修	非公表	30,000
江原 信明	非公表	20,000
江州 秀人	非公表	20,000
荒井 耐郎	非公表	20,000
荒木 いく子	非公表	10,000
高橋 最央里	非公表	20,000
高橋 泰男	非公表	10,000
高橋 裕之	非公表	10,000
高倉 昌弘	非公表	10,000
高谷 公一	非公表	10,000
高田 伊津美	非公表	30,000
高嶋 真美子	非公表	10,000
高野 忍	非公表	10,000

ご芳名(個人)	住所	寄附額(円)
高澤 圭子	非公表	10,000
轟 泰幸	非公表	10,000
黒川 洋一	非公表	20,000
今井 純子	非公表	10,000
今西 俊昭	非公表	30,000
佐賀 伸吉	非公表	10,000
佐々木 勇人	非公表	20,000
佐藤 吉雄	非公表	10,000
佐藤 健介	非公表	10,000
佐藤 宏樹	非公表	10,000
佐藤 淳一	非公表	10,000
佐藤 典子	非公表	100,000
佐藤 敦子	非公表	10,000
佐藤 隆生	非公表	10,000
佐藤 亘	非公表	10,000
采野 進	非公表	30,000
斎藤 智子	非公表	10,000
細田 邦男	非公表	20,000
坂東 直紀	非公表	10,000
坂本 達也	非公表	10,000
坂本 敦	非公表	10,000
笹原 健	非公表	10,000
笹川 裕	非公表	100,000
三井 東浩	非公表	10,000
三橋 啓謹	非公表	10,000
三谷 秀之	非公表	20,000
三谷 哲	非公表	10,000
三輪 昭二	非公表	10,000
三郎丸 和彦	非公表	10,000
山岡 靖	非公表	10,000
山田 京三	非公表	10,000
山内 克己	非公表	30,000
山本 信広	非公表	10,000
山本 篤	非公表	10,000
山本 武	非公表	10,000
山本 竜也	非公表	10,000
山野 孝則	非公表	10,000
山野 昌克	非公表	10,000
鹿内 秀秋	非公表	20,000

ご芳名(個人)	住所	寄附額(円)
篠崎 光司	非公表	20,000
柴田 冬樹	非公表	10,000
秋本 慧	非公表	10,000
小原 勝義	非公表	10,000
小柴 博人	非公表	10,000
小出 美保	非公表	10,000
小川 幹生	非公表	10,000
小倉 保浩	非公表	20,000
小島 昌夫	非公表	20,000
小方 浩史	非公表	10,000
小野口 有一	非公表	10,000
小林 勝一	非公表	10,000
小林 章代	非公表	10,000
小林 正彦	非公表	10,000
松浦 広明	非公表	30,000
松下 昌史	非公表	30,000
松尾 和彦	非公表	30,000
上青木 一夫	非公表	30,000
上田 修三	非公表	10,000
上田 武史	非公表	10,000
上野 浩一	非公表	10,000
新美 豊	非公表	30,000
新美 和寛	非公表	20,000
森 強敏	非公表	10,000
森上 恵司	非公表	20,000
森本 敏男	非公表	20,000
深美 勝利	非公表	10,000
神森 眞	非公表	30,000
杉浦 真理	非公表	10,000
杉田 耕志	非公表	30,000
菅谷 和樹	非公表	30,000
成松 明知	非公表	10,000
成田 昌之	非公表	20,000
成澤 昇	非公表	20,000
星 重厚	非公表	10,000
星野 俊介	非公表	10,000
清水 一樹	非公表	30,000
清水 智美	非公表	30,000
清水 隆之	非公表	10,000

ご芳名(個人)	住所	寄附額(円)
西岡 利昭	非公表	20,000
西江 まなみ	非公表	10,000
西崎 高	非公表	10,000
西川 隆介	非公表	10,000
西村 美知子	非公表	10,000
西代 圭汰	非公表	10,000
西島 文美	非公表	10,000
西野 共子	非公表	10,000
青木 光治	非公表	10,000
青木 孝次	非公表	10,000
石丸 未来	非公表	10,000
石橋 英之	非公表	10,000
石川 聡	非公表	10,000
赤石 誠	非公表	10,000
川本 雅偉	非公表	10,000
川満 綾子	非公表	10,000
川野 明	非公表	20,000
浅沼 亮子	非公表	10,000
浅倉 江利子	非公表	20,000
前田 常雄	非公表	10,000
曾我 高広	非公表	10,000
早川 峻介	非公表	20,000
増田 陽子	非公表	10,000
村中 康平	非公表	20,000
太田 益雄	非公表	20,000
大原 考司	非公表	10,000
大山 宏	非公表	10,000
大西 大輔	非公表	10,000
大塚 弘晃	非公表	20,000
大島 一成	非公表	20,000
大木 忠	非公表	10,000
瀧川 敏之	非公表	20,000
谷口 佳孝	非公表	20,000
池田 佑介	非公表	30,000
竹田 和夫	非公表	60,000
竹内 政洋	非公表	10,000
中井 久仁夫	非公表	10,000
中永 みどり	非公表	10,000
中原 真澄	非公表	10,000

ご芳名(個人)	住所	寄附額(円)
中西 重章	非公表	10,000
中西 美貴	非公表	10,000
中西 玲	非公表	10,000
中村 邦子	非公表	10,000
中津 勝善	非公表	20,000
中嶋 貢	非公表	20,000
中板 育美	非公表	20,000
中野 真志	非公表	10,000
中澤 千恵	非公表	10,000
猪上 容子	非公表	10,000
張 びょう	非公表	10,000
長岡 貴久恵	非公表	10,000
長岡 誠	非公表	10,000
長谷川 順一	非公表	10,000
長内 孝雄	非公表	20,000
鳥居 和男	非公表	30,000
陳 世俊	非公表	10,000
塚田 成実	非公表	10,000
塚本 浩	非公表	20,000
鶴谷 和高	非公表	20,000
田村 充正	非公表	10,000
田中 康貴	非公表	10,000
田中 俊和	非公表	30,000
田畑 秀一郎	非公表	20,000
田北 秀男	非公表	10,000
田邊 実里	非公表	10,000
田邊 宣昭	非公表	20,000
渡邊 健一	非公表	10,000
島 伸一	非公表	10,000
東 潤	非公表	20,000
藤原 覚	非公表	20,000
道田 拓也	非公表	10,000
内橋 真吾	非公表	10,000
播磨 孝一	非公表	20,000
梅谷 幸治	非公表	10,000
梅澤 幸光子	非公表	10,000
柏木 智則	非公表	30,000
白戸 公二	非公表	10,000
畑 幸枝	非公表	10,000

ご芳名(個人)	住所	寄附額(円)
彼末 由美子	非公表	10,000
尾上 幸代	非公表	10,000
尾方 勇貴	非公表	10,000
尾俣 健一	非公表	10,000
菱家 勉	非公表	10,000
富樫 祐介	非公表	20,000
武田 英人	非公表	10,000
武田 朋子	非公表	10,000
服部 孝典	非公表	10,000
福田 愛夫	非公表	10,000
福田 祥平	非公表	10,000
福島 彰子	非公表	10,000
平山 雅徳	非公表	10,000
平尾 亜美	非公表	10,000
米田 正弘	非公表	20,000
米野 雄貴	非公表	10,000
片桐 雅二	非公表	20,000
望月 謙	非公表	10,000
北村 秀司	非公表	10,000
北島 義範	非公表	30,000
牧野 吉宏	非公表	10,000
堀崎 真理	非公表	10,000
木下 直人	非公表	20,000
木村 正	非公表	10,000
野村 幹也	非公表	30,000
野澤 恭嗣	非公表	10,000
野澤 恵	非公表	10,000
李 雪花	非公表	10,000
林 勝	非公表	10,000
鈴木 陽一	非公表	30,000
鈴木 理浩	非公表	20,000
圓田 正志	非公表	10,000
彭 志遠	非公表	10,000
齋藤 有平	非公表	10,000
箆 将威	非公表	10,000
鐵屋 浩三	非公表	20,000
高橋 純也	非公表	10,000
高杉 重夫	非公表	10,000
関根 健夫	非公表	20,000

ご芳名(個人)	住所	寄附額(円)
吉澤 禎	非公表	30,000
久保 孝志	非公表	20,000
古川 歩	非公表	20,000
五十嵐 誠	非公表	40,000
黒田 貴	非公表	20,000
細久保 猛	非公表	20,000
山口 淳	非公表	20,000
射場 茂人	非公表	20,000
酒井 國男	非公表	20,000
森重 雄一	非公表	50,000
森川 貴広	非公表	40,000
水野 崇	非公表	40,000
菅 一光	非公表	30,000
成川 哲平	非公表	20,000
西原 正訓	非公表	20,000
西野 勉	非公表	40,000
石井 卓士	非公表	20,000
石川 裕	非公表	20,000
石田 久美子	非公表	60,000
相羽 隆司	非公表	20,000
村上 一満	非公表	40,000
村田 佳代子	非公表	20,000
中山 貴行	非公表	20,000
朝治 広貴	非公表	20,000
長倉 和彦	非公表	20,000
辻 雅人	非公表	50,000
田中 美樹	非公表	20,000
田中 裕	非公表	20,000
渡辺 政樹	非公表	20,000
藤田 里美	非公表	30,000
南部 満	非公表	20,000
白川 陽子	非公表	20,000
矢川 博	非公表	20,000
藪野 春行	非公表	20,000
鈴木 健司	非公表	30,000
鈴木 秀子	非公表	40,000
鈴木 靖	非公表	20,000
岡田 実子	非公表	30,000
工藤 成一	非公表	40,000

ご芳名(個人)	住所	寄附額(円)
高橋 元章	非公表	30,000
佐賀 平一郎	非公表	50,000
小熊 宏樹	非公表	30,000
小酒井 治	非公表	30,000
小川 一彦	非公表	30,000
松嶋 秀和	非公表	30,000
森本 広導	非公表	30,000
千田 直弥	非公表	30,000
大石 昌明	非公表	240,000
中野 芳朗	非公表	30,000
富永 恵子	非公表	30,000
望月 勝宣	非公表	40,000
徳竹 敦史	非公表	70,000
吉田 茂彦	非公表	50,000
崔 松林	非公表	50,000
磯 頼光	非公表	80,000
辻本 恭久	非公表	100,000
菅原 一則	非公表	210,000

ご芳名(個人)	住所	件数	寄附額(円)
匿名	北海道	4	110,000
匿名	東京都	8	280,000
匿名	大阪府	1	10,000
匿名	京都府	1	10,000
匿名	福岡県	1	10,000
匿名	神奈川県	5	120,000
匿名	奈良県	1	10,000
匿名	埼玉県	1	10,000
匿名	静岡県	1	30,000
匿名	富山県	1	10,000
匿名	三重県	1	20,000
匿名・住所非公表(4,134件)			71,120,000

ご芳名(個人)	住所	寄附額(円)
株式会社ネオリサイクル	北海道	100,000
(株)タマダ	北海道	200,000
(株)高田建築設計事務所	北海道	200,000
芳栄会	北海道	100,000
留萌外販商組合	北海道	30,726
留萌吟詠会	非公表	30,000
連合北海道留萌地区連合会	非公表	50,000
留萌ブロック労働者福祉協議会		
留萌地区労働者福祉対策協議会		

- ・ 敬称は省略させていただきました。
- ・ 氏名などの個人情報の掲載については、ご本人に了解を得ています。
- ・ 氏名などの公表を希望されていない方については、「匿名」「非公表」としました。

5 寄附者のみなさまからのメッセージ

平成30年度に本市に寄せられた応援メッセージの一部を紹介いたします。ご声援ありがとうございました。

- 留萌に生まれ、農業後継者として28歳まで農業に従事したが、集団転作により農業を断念する事になり、離農し転職しました。とてもショックでした。28歳まで育ててくれた故郷留萌を忘れる事は出来ません。
- 釣りでお世話になっております。
- 私は、たこと数の子が大好きなので東京に住む孫に話したら、インターネットで調べてくれて、留萌が良いよと教えてくれたので申し込みました。
- 息子が留萌駐屯地で勤務している。
- 私は、ニシン、数の子の大ファンです。今や、ニシンのとれ高も減少しさみしい気持ちです。ニシンの食をたやさないよう現地の方をお願いしたいです。
- 観光及び通り抜けのみ。
- 学生時代、真冬の北海道を三週間かけて一周した際に立ち寄りました。
- 北海道によく旅行に行きます。また親類もいる土地なので応援したいと思います。
- 妻が留萌出身です。妻の父、祖母も留萌出身です。年に数回、観光、買い物、食事等に行っています。
- 留萌市には農業、漁業、港湾施設等があり、今後の発展を期待しています。
- 何度か行ったことがあり、これからも元気な町でいて欲しい。

- 留萌線の存続を願っています。
- 留萌という地名に旅情が感じられ、いつか行ってみたいです。
- 留萌市の第6次総合計画について応援させていただきたい。
- 以前、旅行で訪れたことがある。
- 仕事で行ったことがある。
- 平成25年～26年にかけて北海道防衛局次長として勤務していた。
- 以前、富士登山駅伝の応援に行った時、留萌の人達との交流を期に親しみを感じました。
- ゆめぴりかがいちばん好きなお米です。
- 今年10月に研修で伺わせていただきました。その時、購入したかったのですが、できませんでしたので、今回、申し込ませていただきました。
- 子持ち昆布が大好き。
- 母方の祖母が留萌出身です。
- 留萌小学校で児童会長をしてました。今は財務省幹部です。留萌を応援しています！
- 子どもが留萌市で働いています。
- 学生時代、留萌の民宿の方々に大変お世話になりました。
- 留萌信金にお世話になりました。

- 10月に留萌へ行きました。廃校となった北光中学校も見ました。淋しいものです。北光中学校の活用希望します。
- 応援しています。がんばってください。
- 地域経済活性化の一助となれば幸いです。
- 100年位前に私の父が生まれた場所です。
- 北海道がんばれ！と常々思いを抱いております。今回 留萌市にしたのは、ゆるキャラのカズモちゃんのいじらしい姿が可愛かったからです(^o^)
- 親の出身地です。
- 弟の妻の実家が留萌にあり、留萌市出身です。
- 品川にある留萌のお店でサービスの数の子を食べたのがきっかけです。今回留萌市に2回目のふるさと納税申込をさせていただきました。
- 旅行で訪れたのが良い思い出です。
- 留萌市立病院にお世話になりました。
- 地域が、鉄道の廃線という大きな課題をかかえ、その大きな課題に対して取り組んでいることを聞きました。応援します。
- 一度は旅行したいと思っています。
- H4～H7まで沖見町に3年間、単身でしたが、お世話になりました。
- 留萌市で仕事をしていました。

- いつもありがとうございます。FMもえるを時々聞いています。2017年夏にJRで旅行に行きました。
- 数の子が欲しかったので寄附しました。
- 母が留萌出身です。
- 何回か旅行で訪れていて、気に入っています。
- ふるさと納税に関し、制度の主旨を越えた返礼品を設定する自治体が多い中、留萌市は地場のものできちんと勝負されている点、嬉しく思います。さとふるを通じて申し込みも便利になりましたので、友人知人へ紹介し、留萌ファンを増やしていきたいと思っています。食のブランド強化へ、引き続きよろしくお願いいたします。
- 上司が留萌市出身です。留萌のさらなる発展を願い寄附させていただきます。
- 旧建屋から留萌市立病院の方々には大変お世話になりました。少額ではございますがお役に立てていただければ幸いです。
- 一度、訪れてみたいと思いました。
- 祖父が留萌市出身で、一度は訪ねたいと思っています。
- 妻の親族が留萌市に居住しています。
- 日本全土の観光地に旅行をしていますので、一度行って見たい市と思っています。
- 昔、旭川に住んでいて海水浴に行ったり、非常に慣れ親しんだ地域だから。
- 前回にお礼品(味付け数の子)を送って貰ったのがたいへん美味しかったから。
- 北海道旅行中に訪れ、2泊しました。

- いつまでも留萌は故郷で帰る場所です。
- 夫の出身地で義理の両親が住んでいます。
- 留萌市に友人がいます。
- 主人のふるさとです。
- JRによる留萌線の廃止との声を聞くたびに怒りを感じ、さびしさを覚えるところです。
留萌が発展すること願っております。
- 私の一番好きな野球選手若松さんの出身地であり、昨年、プライベートでそちらに旅行しました。街の発展を願って今年も寄附します。
- バスツアーで2，3回行きました。
- 北海道に旅行した際に、留萌に立ち寄ったことがあり、さとふるで見かけたときに懐かしく感じました！（^▽^）ノシ
- 北海道にはよく旅行でいっており留萌にあるお寿司屋さんの「蛇の目」さんにはとても感動しました。
- 北海道に友達が住んでいます雨の被害のニュースを見て少しですが寄附を留萌にしたいと思いました。
- 旅行で寄った事がある（夕日がきれい）
- ネットで見た時に最初に目にとまりました。
- 行ってみたい場所です！

- ゆかりは無いが何度か訪れたことがある
- 留萌の市民の方に助けられた引揚者です。
- 1945年8月22日未明、留萌沖にて三船が潜水艦に大きな撃砲をうける。私は新興丸という船の甲板におり、6才であった。72年ぶりにNHKにて真実を知り留萌市役所にTELを致し、資料をいただいた者です。今後は留萌が第2の故郷となると思います。
- 冬の猛吹雪、夏の海に沈む真赤な夕日、いつも思い出します。
- 昭和20年8月新興丸で引揚遭難者の生残りです。その節は大変お世話になりました。
- 長く留萌市立病院で働かせていただいています。
- 留萌市は農業、漁業、港湾施設等があり、留萌支庁管内のリーダーとして発展を期待しています。
- ご丁寧なお電話を何度も頂きまして有難うございました。御市の御発展をお祈り申し上げます。
- 私は、たこと数の子が大好きなので、東京に住む孫に話したら、インターネットで調べてくれて、留萌が良いよと教えてくれたので、申し込みました。
- 釣りでお世話になっております。

6 「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附条例及び施行規則

(1) 「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附条例

平成20年9月25日条例第35号

2008年環境サミット。

地球環境を考える「北海道洞爺湖サミット」の開催年に、わたしたちのまち留萌は、留萌市自治基本条例（平成18年留萌市条例第40号）の理念にも掲げられている、永遠に持続できるふるさとの海、山、健康づくりを進め、誇りをもって未来を担う子どもたちに引き継ぐまちづくりを進めるため、この条例を制定します。

（目的）

第1条 この条例は、留萌市自治基本条例の理念に基づき、留萌のまちづくりへの共感やふるさとへの想いを持つ人びとの地域づくりへの参加手法として、寄附金を財源とし、寄附者の想いを具体化することにより、多くの人びとの参加による個性あるふるさとづくりに資することを目的とする。

（事業の区分）

第2条 前条に規定する寄附者の想いを具体化するための事業は、次の各号のとおりとする。

- (1) 萌える若者たちのまちづくりに関する事業
- (2) ふるさとの海づくり・里山づくりに関する事業
- (3) ニシン文化の継承に関する事業
- (4) 食のブランド化、食育に関する事業
- (5) 健康で輝きのある元気づくりに関する事業
- (6) 安心して暮らせる地域医療づくりに関する事業
- (7) こどもの健全な育成に関する事業
- (8) 前各号に掲げる事業のほか、留萌市が推進する事業

（寄附金の指定等）

第3条 寄附者は、前条各号に規定する事業（以下「寄附事業」という。）の中から、自らの寄附金を財源として実施する事業をあらかじめ指定することができる。

- 2 市長は、寄附者が前項に規定する事業の指定を行わなかったときは、寄附者に代わってまちづくりの課題に応じ、寄附事業の中から指定を行うものとする。
- 3 市長は、前項の指定を行った場合直ちに寄附者にその内容を報告しなければならない。

(基金の設置)

第4条 第2条第1号から第7号までに規定する事業に充てることを目的とし、寄附者から収受した寄附金を適正に管理運用するため、「若者たちが萌えるまち」留萌市応援基金（以下「応援基金」という。）を設置する。

(基金への積立て等)

第5条 第2条第1号から第7号までに規定する事業に係る寄附者から収受した寄附金は、応援基金に積み立て、第2条第8号に規定する事業に係る寄附者から収受した寄附金は、その目的に応じて、留萌市の設置する各種基金に積み立てるものとする。

2 市長は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、寄附金を基金として積み立てることなく、寄附事業の財源又はこの条例に基づく事務に要する経費に充てることができる。

(寄附者への配慮)

第6条 市長は、応援基金の管理及び運用に当たっては、寄附者の意向が反映されるよう十分配慮しなければならない。

(基金の管理)

第7条 応援基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

(基金の収益処理)

第8条 応援基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、この応援基金に編入するものとする。

(基金の処分)

第9条 応援基金は、その設置の目的を達成するため、第2条第1号から第7号までに規定する事業に要する費用に充てる場合に限り、その全部又は一部を処分することができる。

(基金の繰替運用等)

第10条 市長は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰り戻しの方法、期間及び利率を定めて、応援基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は一般会計の歳入歳出予算の定めるところにより歳入に繰り入れて運用することができる。

(運用状況の公表)

第11条 市長は、毎年度の終了後3ヶ月以内にこの条例の運用状況について、公表しなければならない。

(条例の見直し)

第12条 この条例は、施行の日から5年を超えない期間ごとに、社会状況の変化やこの条例の推進状況を検証し、その結果に基づいて見直しを行うことができる。

(委任)

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成25年12月18日条例第28号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成29年3月22日条例第2号)

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

(2) 「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附条例施行規則

平成20年9月25日規則第34号

(趣旨)

第1条 この規則は、「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄附条例(平成20年留萌市条例第35号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(寄附金の受入れ等)

第2条 寄附金は、寄附申込書(別記様式第1号)によるものとする。ただし、インターネットを経由した申込みその他の方法により寄附者の意向を確認することができる場合は、この限りでない。

2 寄附金の受入れは、次に掲げる方法のいずれかにより行うものとする。

- (1) 市が発行する納付書による納付
- (2) 郵便振替による納付
- (3) インターネットを経由した次の支払い方法による納付
 - ア クレジットカード決済
 - イ インターネットバンキング決済
 - ウ コンビニエンスストア決済

3 市長は、寄附金が公序良俗に反するものと思料される場合は、受入れを拒否し、又は收受した寄附金を返還することができる。

4 市長は、前項の規定による取扱いをした場合は、その決定の理由及び経過を記録しておかなければ

ればならない。

- 5 寄附金の受入れは、他の法律及び法律に基づく命令に特別の定めがある場合を除くほか、この規則の定めるところによる。

（寄附金受領証明書の交付）

第3条 市長は、寄附金を受け入れたときは、寄附者に対し、寄附金受領証明書（別記様式第2号）を交付するものとする。

（感謝状等の贈呈）

第4条 市長は、寄附金を受け入れたときは、寄附者に対し、感謝状（別記様式第3号）を贈呈することができる。

- 2 感謝状は、適宜礼状（別記様式第4号）に代えることができる。

- 3 市長は、100万円以上の寄附があったときは、感謝状にあわせて、記念品として額縁を贈呈することができる。

（寄附金台帳等の作成）

第5条 市長は、寄附金の適正な管理を図るため、寄附金台帳（別記様式第5号）を作成しなければならない。

- 2 市長は、基金の一部又は全部を処分しようとするときは、処分の経過を記録しておかなければならない。

（寄附金の額）

第6条 寄附金は、一口1,000円を下限とする。ただし、市長が認める場合は、この限りでない。

（運用状況の公表方法）

第7条 条例第11条に規定する運用状況の公表は、次に掲げる事項とし、広報誌等により行うものとする。ただし、寄附者が自らの氏名、住所等の公表を希望しない場合はこれを公表しないものとする。

- (1) 寄附者の氏名又は団体名
- (2) 寄附者の住所（所在地）の都道府県・市区町村名
- (3) 寄附金の額
- (4) 寄附金を充当した事業の名称及び事業の概要
- (5) 留萌市応援基金の運用状況

（委任）

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成21年 8 月31日規則第36号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成22年 5 月18日規則第32号）

この規則は、平成22年 6 月 1 日から施行する。

附 則（平成23年 9 月29日規則第28号）

この規則は、平成23年10月 1 日から施行する。

附 則（平成26年 3 月 4 日規則第 3 号）

この規則は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成27年 4 月 1 日規則第15号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成29年 3 月31日規則第 5 号）

この規則は、平成29年 4 月 1 日から施行する。